

船舶の代替燃料としてのLNGの可能性に関する国際セミナー

# LNG燃料事業に関して

---

2019年2月7日

日本郵船株式会社 燃料グループ：篠崎宏次



**日本郵船**

## 日本初のLNG燃料タグボート“魁”

- 船主： 日本郵船
- 運航者： ウィングマリタイムサービス
- 竣工： 2015年8月31日
- 運航域： 横浜・川崎



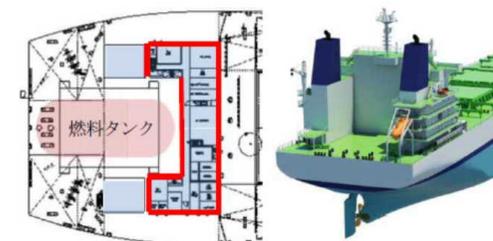
## 世界初のLNG燃料自動車運搬船“Auto Eco, Auto Energy”

- 船主： United European Car Carriers  
(当社50%出資)
- 竣工： 2016年9月、11月
- 運航域： 北海・バルト海



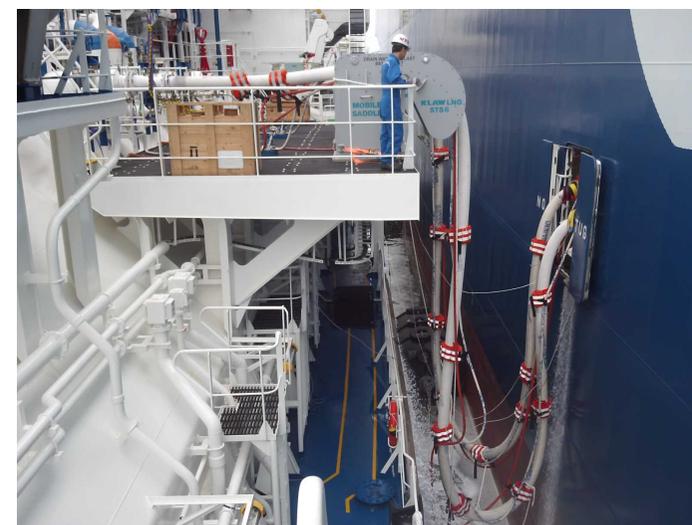
## その他、LNG燃料船の研究開発

- 20万トン型撒積船コンセプトデザイン、日本海事協会AIP取得  
(ジャパンマリンユナイテッドとの共同検討)
- ポストパナマックス型バルクキャリアの共同開発計画、  
国土交通省の先進船舶導入等計画認定制度の第1号に選定  
(大島造船所との共同計画)



日本郵船/三菱商事/ENGIEの3社で、ベルギー-Zeebruggeを拠点にLNGバンカリング事業を展開中。

- 2014年： LNGバンカリング船建造契約を韓進重工業と締結  
2016年： LNG燃料供給・販売ブランド“Gas4Sea”立上げ  
2017年： **世界初の新造LNGバンカリング船“Engie Zeebrugge”竣工  
LNGバンカリング事業を開始**
- United European Car Carriers 自動車運搬船
  - Equinor シャトルタンカー（2020年～）

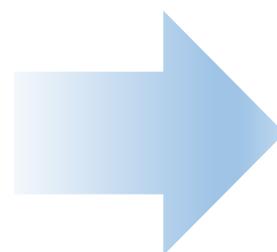


# 中部地区 2020年よりLNGバンカリング事業開始



日本郵船/川崎汽船/中部電力/豊田通商の4社で、中部地区に於けるLNGバンカリングの事業化を決定。

- 2018年5月10日： 合併会社2社を設立
- 2018年6月28日： 国土交通省“LNGバンカリング拠点形成事業”に選定
- 2018年7月6日： 川崎重工業とLNGバンカリング船建造契約を締結
- 2020年9～12月： 伊勢湾・三河湾でShip to Ship方式によるLNGバンカリング事業を開始（予定）



船の先端と曳波から“←”という未来をイメージ  
Central LNGの“C”と“L”も彷彿  
2つを組み合わせ、緑色と水色を加える  
海運業界や地球環境の未来を示すシンボルマーク

※商標登録中

# 中部地区 2020年よりLNGバンカリング事業開始

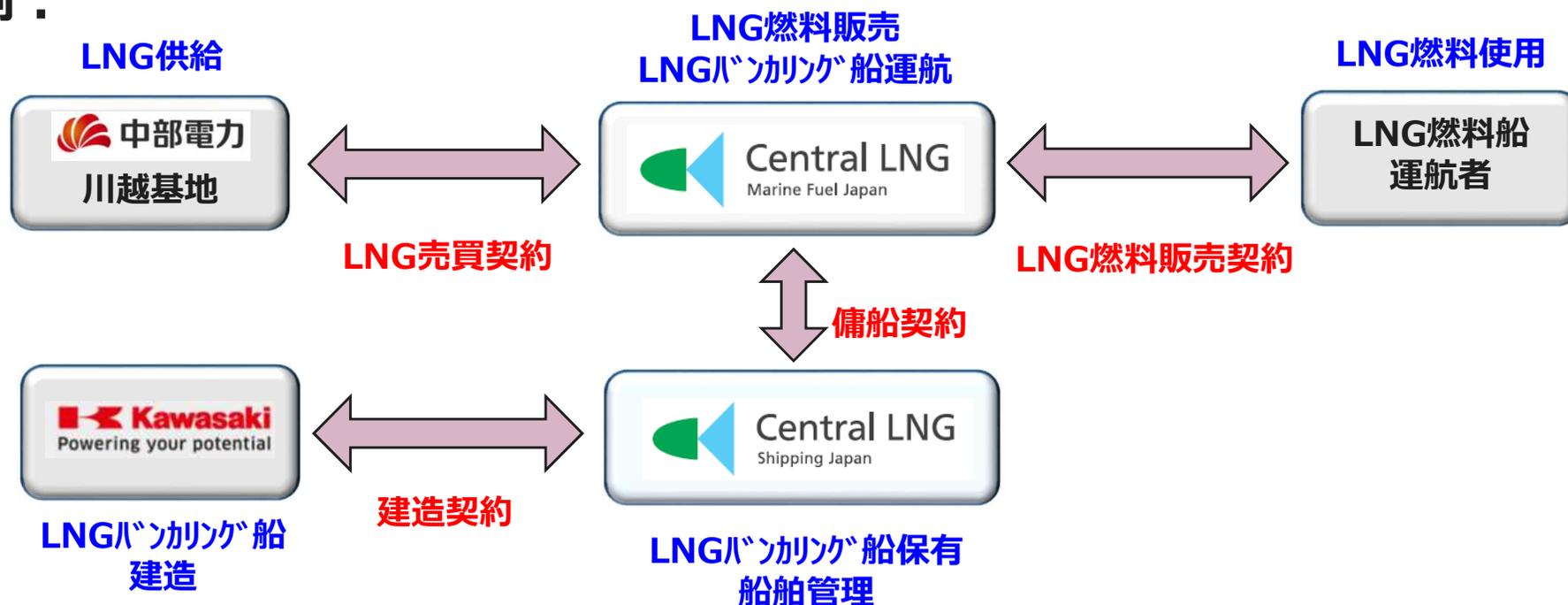


LNG燃料供給船イメージ図 (川崎重工業株式会社提供)

## LNGバンカリング船の概要：

LNG積載容量	3,500m <sup>3</sup>
総トン数	4,100トン
全長	81.7m
全幅	18.0m
竣工時期	2020年9～12月頃
造船所	川崎重工業

## 供給体制：



九州電力/西部ガス/中国電力/日本郵船の4社で、瀬戸内・九州地区に於けるLNGバンカリングの事業化検討を開始。

2018年8月2日に覚書(MoU)を締結し、同日プレスリリースを実施。





**免責事項**

本資料は、電子的または機械的な方法を問わず、当社の書面による承諾を得ることなく複製又は頒布等を行わないようお願いいたします。

**Legal Disclaimer**

No part of this document shall be reproduced, stored in a retrieval system or transmitted in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording or otherwise, without the prior written permission of NYK Line.